

事務事業評価シート

事務事業コード	030300	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	地方創生ストリートミーティング事業		所属名	企画推進部	政策企画課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 令和2年度
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地方創生推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-51

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	若い世代
意図 (どのような状態にするために)	次世代の鳥取市を担う若い世代の希望がかなえられるまちづくりを進めるため
手段 (どうするのか)	若い世代と市長とのストリートミーティング(座談会)の開催

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	
	年度別実績	子育て世代、移住若者世代、働く若者女性、新規就農者、中学生を対象に計6回実施。	関西在住の若者、首都圏在住の若者、若手経済人、女性起業者を対象に計4回実施。	鳥取大学、鳥取環境大学、関西圏在住の若者、首都圏在住の若者を対象に計4回実施。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	747	946	1,178	0	0	
	直接経費 A	25	214	454	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	25	214	454	0	0	
人件費 B	722	732	724	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	ストリートミーティングの開催	回	目標	6	6	6	6	6	
				実績	6	4	4	0	0	
	(指標の説明) 若い世代と市長とのストリートミーティング(座談会)を開催する									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 創生戦略室 0857-30-8014</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 「鳥取市創生総合戦略」では「ひとつづくり」を第一の柱に据え、若い世代の希望がかなえられるまちづくりを進めるため、市長自ら若者と対話し、いただいた意見を施策に反映させていくもの。</p> <p>【事業の成果】 ＜内容＞若い世代と市長とのストリートミーティング（座談会）の開催 平成30年度『地方創生ストリートミーティング』 第1弾「鳥取環境大学学生編」 大学生7名 平成30年 6月 第2弾「鳥取大学学生編」 大学生6名 平成30年 7月 第3弾「首都圏在住若者編」 首都圏在住大学生6名 平成30年11月 第4弾「関西圏在住若者編」 関西圏在住の若者4名 平成30年12月</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施する。令和元年度は、市内大学生、若手経済人などと実施予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	ストリートミーティングの開催	100%	67%	67%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	平成30年度は大学生を中心に、鳥取市内での定住促進を図るための意見聴取を中心に行ったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>次世代を担う若者と気軽に話すことができる貴重な場と考え、基本は現状の事業を維持する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	030400	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	構造改革特別区域推進事業		所属名	企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営	事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営	根拠法令、 根拠計画等	構造改革特別区域法(平成14 年法律189号)
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			
目標 の 種別	目標の種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし	0	0	運営方法	直営
		0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市全域
意図 (どのような状態 にするために)	教育、農業、社会福祉などの分野における構造改革を推進し、地域の活性化を図り、本市の経済を発展させる。
手段 (どうするのか)	各地域の特性に応じて規制の特例措置を定めた構造改革特別区域を設定する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知し、必要に応じて構造改革特別区域を設定。
年度別実績	特区申請なし	特区申請なし	特区申請なし				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	722	732	724	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	722	732	724	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	全庁への周知	回	目標	3
			実績	3	3	4	0	0
	(指標の説明) 国からの募集を全庁に周知する。							
2	認定特区件数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 新規に特区認定された件数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 創生戦略室 0857-30-8014</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 構造改革特区申請取りまとめ、全体進捗管理</p> <p>2 国等関係機関調整</p> <p>【事業の成果】</p> <p>地域の取組の妨げとなる規制を取り除くツールとして構造改革特区の申請を行い、地域の自然的、経済的、社会的諸条件等を活かした地域活性化の一助とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H19年 3月 「鳥取市保育所臨時保育士の任用期間延長による保育事業充実特区」 ・H26年 3月 「鳥取市五しの里さじどぶろく特区」 ・H28年 3月 「とっとり・やず果実酒特区」 <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>1 庁内での活用事例の公表を積極的におこない、検討案件件数を目指す。</p> <p>2 活用のメリット、具体的な事務内容・方法を周知し、市民・職員双方の事務負担を軽減する方向での調整を行う。</p>
------------------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	全庁への周知	100%	100%	133%		
	2	認定特区件数	0%	0%	0%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	全庁への周知を実施したが、特区申請はなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>基本は現状の事業を維持しつつ、制度内容、メリット等の周知を引き続き行っていき、必要に応じて活用実績の増を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	030500	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域再生計画推進事業		所属名	企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営	事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営	根拠法令、 根拠計画等	地域再生法(平成17年法律第24号)
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営			
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし	0	0	運営方法	直営
		0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市全域
意図 (どのような状態 にするために)	地域経済の活性化と地域雇用の創造
手段 (どうするのか)	地域再生法に基づく各種メニューを活用した事業を実施する際に、全庁的な調整を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	年度別実績	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	1,444	1,464	1,449	0	0
	直接経費 A	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	1,444	1,464	1,449	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	全庁への周知回数	回	目標	3	3	3	3	3
				実績	3	3	1	0
(指標の説明) 国からの募集を全庁に周知する。								
2	地域再生計画認定件数	件	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	2	1	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 創生戦略室 0857-30-8014</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 地域再生計画申請の取りまとめ、全体進捗管理</p> <p>2 国等関係機関調整</p> <p>【事業の成果】</p> <p>1 必要に応じて計画認定の調整を実施</p> <p>2 30年度申請数(実績) 1件</p> <p>・H30年5月認定 高度外国人材等活用促進事業計画(県・市)</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>1 庁内での活用事例の公表を積極的におこない、検討案件件数を指す</p> <p>2 活用のメリット、具体的な事務内容・方法を周知し、市民・職員双方の事務負担を軽減する方向での調整を行う</p> <p>3 関連交付金等の情報の収集にあたり、各担当課の事業立案時にアドバイス等を積極的に行う</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	全庁への周知回数	100%	100%	33%		
	2	地域再生計画認定件数	100%	200%	100%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	全庁周知を行わなかったものの、地方創生推進交付金申請の際に関係課聴取を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>内部調整事務のため、事業自体は現状維持が妥当と考える。 なお、本制度は、今後の法律制限解除等の事務処理負担軽減や国費等の有効財源の活用の際に必要となるため、一層の制度の把握と、行政内部への周知を図ることが必要となる。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	030600	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域づくり懇談会開催事業		所属名	市民生活部 協働推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域づくり懇談会開催費			予算事業コード	01-02-01-01-07-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内61地区(地区公民館単位で開催)
意図 (どのような状態にするために)	地域及び市政の課題を解決し、対話行政を推進することにより、市政の一層の発展と協働による地域づくりの推進を図る。
手段 (どうするのか)	市長以下、幹部職員が地域に出向き、地域課題の解決のため、各地区住民と直接意見交換する。また、当日市民からいただいた意見・要望等は文書にまとめ、各担当課に周知徹底し、改善等について検討する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		地域づくり懇談会の開催 ・32地区開催(鳥取地域17地区、新市域15地区)	地域づくり懇談会の開催 ・32地区開催(鳥取地域17地区、新市域15地区) 開催方法の見直し検討	地域づくり懇談会の開催 ・30地区開催	検討結果を踏まえた開催 ・31地区開催	検討結果を踏まえた開催	
年度別実績	地域づくり懇談会の開催 ・28地区 ・986人参加	地域づくり懇談会の開催 ・32地区 ・1,060人参加	地域づくり懇談会の開催 ・28地区 ・531人参加				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,431	3,545	3,429	0	0	
	直接経費 A	543	617	532	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	543	617	532	0	0		
人件費 B	2,888	2,928	2,897	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				参加人数(懇談会に参加した市民の数)	名	目標	1000	1000
			実績	986	1060	0	0	0
	(指標の説明) 参加人数はH29までの評価指標。H30以降は取組内容を見直すため満足度を指標とし評価する。							
2	参加者の満足度	%	目標	50	50	70	70	70
			実績	37	69	74	0	0
	(指標の説明) 懇談会に参加した市民の満足度(アンケート集計結果)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 コミュニティ支援係 0857-30-8176 【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 (予算事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 市長以下、市幹部職員が地域に出向き、市民と直接意見交換を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度 28地区 平成29年度 32地区 平成30年度 28地区</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域の取り組みや市の展望などについて市長と地域住民が直接膝詰りで話し合い、地域との協働のまちづくりをさらに前進させる場となるよう引き続き取り組む。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	参加人数(懇談会に参加した市民の数)	99%	106%			
	2	参加者の満足度	74%	138%	106%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地域の取り組みや市の展望などについて市長と地域住民が直接膝詰りで話し合い、地域との協働のまちづくりをさらに前進させる場となるよう引き続き取り組む。</p>		

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-30-8008</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の経過及び背景】 とっとり市報は、昭和27年1月に第1号を発刊し、平成30年4月に第1092号を発刊。現在は、インターネットやスマートフォンで市報が読めるHTML版、PDF版等も配信。</p> <p>【事業の目的及び効果】 平成26年12月実施の市民アンケート調査によると、本市から提供される情報の主な入手の手段としては、とっとり市報が62.2%と最も高くなっており、重要な広報媒体となっている。</p> <p>【事業の内容・実績】 (1) 発行回数・・・市報：月1回1日発行 支所だより：市報に併せ発行 (2) 発行部数・・・市報：65,200部 支所だより：15,050部 (3) 規格・・・市報：A4判カラー32頁 支所だより：A4判二色刷り4頁 (4) 配布方法・・・搬送業者が町内会の担当者宅へ届け、担当者が各世帯へ配布。町内会未加入者は、各公共施設、スーパー、コンビニ等で入手可。 商業施設への設置は、シルバー人材センターへ委託。 市報配布箇所数・・・町内会等：約1,260箇所 市報設置箇所数・・・公共施設：約130箇所、 商業施設：約60箇所</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	とっとり市報に対する肯定的な意見数(年平均)	118%	114%	111%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>市政の情報入手手段としてニーズの高い市報について、より関心をもって読んでもらえるよう内容の充実に努めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	030800	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	市政広報事業		所属名	企画推進部 秘書課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
施策の目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市政広報費			予算事業コード	01-02-01-03-02-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民、山陰地方
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市のイベントやお知らせなどの情報を広く市内外に告知し、集客を図る
手段 (どうするのか)	新聞、テレビ、ラジオなどを活用した広告宣伝を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるような情報提供する。	テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるような情報提供する。	テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるような情報提供する。	テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるような情報提供する。	テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるような情報提供する。
年度別実績	各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行政情報番組) ・新聞(地元紙での広告対談記事) ・テレビ(CM、特集番組) ・ラジオ(AM/FMでのスポットCM)	各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行政情報番組) ・新聞(地元紙での広告対談記事) ・テレビ(CM、特集番組) ・ラジオ(AM/FMでのスポットCM等)	各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行政情報番組) ・新聞(地元紙での広告対談記事) ・テレビ(CM、特集番組) ・ラジオ(AM/FMでのスポットCM等)	各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行政情報番組) ・新聞(地元紙での広告対談記事) ・テレビ(CM、特集番組) ・ラジオ(AM/FMでのスポットCM等)		
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
直接経費の財源内訳	事業費(A+B)	54,759	51,003	47,644	0	0
	直接経費 A	47,540	43,684	40,401	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	441	492	227	0	0
一般財源	47,099	43,192	40,174	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	市政広報に係るテレビ・ラジオ番組、新聞等への掲載数(年平均)	件	目標	20
	(指標の説明)		実績	22	24	25	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-30-8008</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の経過及び背景】 市民が行政情報を容易に取得できるように、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアで情報提供を行うとともに、他都市との交流を促進するための広域的な情報発信も行う。</p> <p>【事業の目的及び効果】 さまざまなメディアの持つ特性を生かしながら、市政情報を市民に届けていくことは、本市の広報戦略上重要な課題であり、主に市内のマスメディアを活用して効果的な情報発信・情報提供を行っていく。</p> <p>【事業の内容・実績】 (1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組を延べ20回、年50本放送他 (2) 新聞・・・記事下広告：地元紙に年35段掲載 対談記事広告：市長対談記事を年1回掲載 (3) テレビ・・・スポットCM：15秒CMを週3回放送 企画番組：30分番組を年1回、15分番組を年1回放送 (4) ラジオ・・・FM放送スポットCM：3分CMを毎週月・水・金1日2回放送他 AM放送スポットCM：20秒CMを年60本放送 (5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出</p>
------------------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	市政広報に係るテレビ・ラジオ番組、新聞等への掲載数(年平均)	110%	120%	114%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>目的に応じて広く深く市民に情報の浸透を図るため、様々なメディアの特性を生かした情報発信に努める。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	030900	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	ホームページ運用事業		所属名	企画推進部 秘書課		

1. 基本情報

位置づけの 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の 施策の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ホームページ運用費			予算事業コード	01-02-01-03-02-05

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市公式ホームページ
意図 (どのような状態 にするために)	行政、イベント、観光、危機管理等に関する情報を掲載して、市民やインターネットユーザーに対して情報を提供するもの。
手段 (どうするのか)	各課が、行政やイベントなどの情報を入力し、ホームページで情報公開する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し システム更新に係る プロポーザルの実施	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し システム更新	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	11,913	11,310	9,924	0	0	
	直接経費 A	4,694	3,991	2,681	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	19	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	767	670	540	0	0
	一般財源	3,908	3,321	2,141	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数 (月平均)	件	目標	100000
			実績	92000	67406	69341	0	0
	(指標の説明) 鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数(月平均)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-30-8008</p> <p>【10次総施策体系】 5101</p> <p>【事業の経過及び背景】 鳥取市公式ホームページは、平成10年3月に開設し、平成19年10月には各担当課で情報更新が可能なシステムを導入し行政情報の発信を行っているが、現行システムのサポート終了に伴い、令和元年11月にシステムの更新及び鳥取市公式ホームページのリニューアルを実施する。</p> <p>【事業の目的及び効果】 公式ホームページは、住む人のみならず来る人も対象に、市政の基幹的な広報媒体として、迅速・丁寧な情報発信を行っていく重要な役割を担う。よりわかりやすく、より役に立つホームページの構築・運用を進めることで、市民とのコミュニケーションの増進を図る効果が期待できる。</p> <p>【事業の内容・実績】 (1) 現行公式ホームページ・・・令和元年10月まで運用 (2) 新規公式ホームページ・・・令和元年11月より公開 <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブアクセシビリティレベルの向上 ・スマートフォン等のレスポンス対応 ・災害専用トップページ ・多言語翻訳機能 ・音声読み上げ機能 など </p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数(月平均)	92%	67%	69%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>アクセス件数が伸びないのは、ホームページの魅力が乏しいためであり、デザイン・記事内容等の充実が必要。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>令和元年11月にホームページ構築システムの更新を行い、本市の基幹的な情報発信ツールとして、より使いやすく、親しみやすいホームページの実現を目指していく。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	031000	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	情報提供のあり方改善事業		所属名	企画推進部	秘書課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	情報提供のあり方改善事業費			予算事業コード	01-02-01-03-02-17

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市職員 各種広報ツール 市民
意図 (どのような状態にするために)	【わかりやすい市政】 市民に対し、市政をわかりやすく説明できる職員を育成する。 【伝わりやすい市政】 市民に対し、市政が伝わりやすい環境を整備する。 【信頼される市政】 政策決定過程から市民参画を促し、市民との情報共有と信頼関係の構築を図る。
手段 (どうするのか)	「わかりやすさ」に重点を置いた研修を実施する。 「伝わりやすさ」を重視した計画的な広報を実施する。 広報と広聴が連携し、市民が意見を寄せやすい環境を整備する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化	職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化	職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化	職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化	職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化	職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化
年度別実績	広報専門職員を配置 新聞朝刊各紙に「鳥取市からのお知らせ」の折込実施 インターネットモニターの実施	広報専門職員を配置 イオン北店フードコートDSで市の情報の放送実施 市民政策コメントの実施	鳥取市広報指針の策定、職員への周知 イオン鳥取店、鳥取北店への鳥取市情報コーナーの設置 広報・広聴連絡会議の立ち上げ				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	16,830	14,638	7,375	0	0	
	直接経費 A	2,392	0	132	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,392	0	132	0	0		
人件費 B	14,438	14,638	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	市政記者室への資料提供件数	件	目標	1500
			実績	1548	1539	1545	0	0
	(指標の説明) 市政記者室への資料提供件数(市および市民)							
2	CATVコミュニティデータ放送の地域情報利用世帯数	件	目標	90	100	110	120	0
			実績	92	92	95	0	0
	(指標の説明) CATVコミュニティデータ放送の地域情報利用自治会数							
3	市民政策コメント1件あたりの平均意見件数	件	目標	20	20	20	20	0
			実績	18	12	14	0	0
	(指標の説明) 市民政策コメントの1件あたりの平均意見件数							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-30-8008</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の経過及び背景】 情報提供のあり方に関する提言(H25.1.29)を実施するため、広報専門職員(戦略広報監・キャスター)の配置、広報委員会で進捗を管理、広報委員会に専門部会を設置し事業を推進する。平成30年度に広報戦略推進プロジェクトチームを設置し、新たな広報指針を策定した。</p> <p>【事業の目的及び効果】 積極的な市政の情報発信に努め、市民の声が市政に反映される協働のまちづくりを推進する。</p> <p>【事業の内容・実績】 (1) 広報担当職員の能力向上 (2) ソーシャルメディアの利活用 (3) 広報と広聴の連携強化 (4) 広報ツールの選択と効果検証 (5) CATVの加入促進と視聴率向上 (6) コミュニティFM放送の利用拡大 (7) 職員の情報提供能力向上</p>
------------------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	市政記者室への資料提供件数	103%	103%	103%		
	2	CATVコミュニティデータ放送の地域情報利用世帯数	102%	92%	86%		
	3	市民政策コメント1件あたりの平均意見件数	90%	60%	70%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>テーマへの関心が低いと、市民政策コメントの意見数が少なくなることは否めないが、市政に市民の意見を取り込むため組織的な取組が必要。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成30年度に新たに策定した鳥取市広報指針に基づいて「市民に伝わり、市民とつながる広報」の実現を目指す。</p>				